

博士課程教育リーディングプログラム「環境エネルギー協創教育院」
第13回特別講演会（2015年11月25日）

開催日時：2015年11月25日（水）13：20～15：30

開催場所：東京工業大学 大岡山キャンパス 石川台3号館 304号室

講演題目：「クリーンディーゼルとコモンレールの役割の重さ」

講師：伊藤昇平（工学博士、くわな科学技研代表）

講演概要：

最近のクリーンディーゼルにおけるコモンレール（電子制御式燃料噴射装置）の役割は、開発当初と比較するとますます重要になってきている。自動車用ディーゼルエンジンについては、最近のVW排ガス不正問題など、専門家でなくとも社会的に関心が高まっている。しかし、これがコモンレールと深く関係していることはあまり知られていない。

1994年の世界初コモンレール生産、2002年の世界最大180MPaコモンレール生産に開発責任者として10年間携わった経験から、ディーゼルエンジンにおける燃料噴射装置の原理と重要性、および、今後のクリーンディーゼルに必要な燃焼室内における燃料・空気混合気形成装置としてのコモンレールに期待することを述べたい。

主な内容

- ①最近のディーゼルの話題
- ②ディーゼルエンジンの動向
- ③初期のコモンレール開発の経緯
- ④最近のクリーンディーゼルにおけるコモンレールの役割
- ⑤今後に期待すること

講師略歴：

- 1975年 名古屋大学工学部卒業
- 1977年 名古屋大学大学院修士課程修了
- 1977年 日本電装(株)（現(株)デンソー）に入社。ディーゼル燃料噴射装置の設計・開発業務に従事。
- 1994年 「コモンレール」開発責任者
- 2002年 世界初高圧（180MPa）コモンレールを世に送り出す。
- 2005年 (株)デンソー常務役員就任
- 2006年 デンソーアイテック社長就任
- 2011年 同社退社
- 2012年 「くわな科学技研」を起業、現在に至る。

工学博士（1990年、東京大学）

1998年 日本機械学会技術賞受賞